

宮城県 寸脳卒中協会 会報

第 93 号

財団法人
宮城県対脳卒中協会
仙台市太白区長町南4-20-1
広南病院内(郵便番号982-0012)
電話番号 (022) 247-9749
平成23年1月20日発行



リハビリ施設訪問

松島病院は有名な日本三景松島の中心に位置し、内科、外科、産婦人科、整形外科、神経内科、消化器科、リハビリテーション科を標榜する病院である。ベッド数は一般病棟五十四床、療養病床四十五床の合計九十九床であるが、百

床の老人保健施設も併設している。急性期から慢性期までの入院医療と、最近この地域でも施設数減少が深刻な産科を行っている。主として松島町、大郷町、東松島市（特に旧鳴瀬町）から毎日多数の外來患者が来院するほか、観光地のため全国、ときには海外の旅行客の急病患者も来院する。

松島病院

地域に密着した医療提供

松島病院のリハの主な対象疾患は、脳血管疾患、神経筋疾患、呼吸器疾患、骨・関節疾患などであり、急性期から慢性期まで幅広く対応している。つまり、脳卒中や整形外傷などの発症早期

心のこもったリハを目指す

当院は親切で質の高い医療を常に追求し、リハ部門にしても、院内各科や近隣の医療、介護施設とも緊密に連携し、患者さんに心から満足してもらえぬ良質で心のこもったリハを目指しております。

(丹野 尚院長)



の急性期のリハに加えて、仙台市内や近郊の専門医療施設で急性期の治療・手術・リハを終えた後の家庭復帰や施設入所に向けての慢性期のリハを行っている。さらには、家屋改修のアドバイスや家族指導も含めた在宅リハにも取り組んでいる。また、日常の機能訓練に訪れる患者も多い。併設の介護老人保健施設「松島みどりの家」や院内の訪問看護室と連絡を密にしながら行政とも連携し、在宅でも施設でも、入院しても患者が安心して安全にリハを行えるように常に配慮している。

リハ科のスタッフは理学療法士七人（常勤三人、非常勤四人）と、

地域医療で求められる大きな役割を考えると、質量ともに必ずしも十分ではない。ともすればチームアプローチが不十分になることもあるが、少しでも患者の要望や地域のニーズに応えられるように、チームワークを大切にしながらスタッフ一人一人が各自の資質の向上や研鑽に励んでいる。

松島病院内科では、脳卒中、心臓病などで寝たきりになるのを未然に防ぐことを何よりも重要視し、生活習慣病の治療に力を入れている。高血圧、脂質異常症、メタボリック症候群の予防と治療に加えて毎週、糖尿病教室を開催し、糖尿病患者会「まつしま会」は、日帰り旅行や研修会を通じて患者同士や医療スタッフとの親睦を深めることで闘病意欲を高め、治療に役立てている。これから、地域に密着したリハビリ施設として、地域医療と福祉のために奮闘する決意であるとしている。

松島病院は宮城県松島町高城字浜一―二六、電話022―354―5811。

脳卒中に「ならないように・なってしまったら」

宮城病院統括診療部長 安藤肇史

二十二年十月に亘理郡山元町で脳卒中に関する講演を行いました。聴衆の多くが地域の方々でしたので、脳卒中全般についてあまり専門的にならないように予防と治療を中心にお話をしました。

急性の脳血管障害

まず、予防と治療の話をする前段階として、脳卒中の基本的事項がいくつかあります。脳卒中とは脳血管障害の中で急性に発症したものを言い、俗に言う「当たった」という状態であり、他に中風とも呼ばれています。脳を栄養する頭蓋内の血管に異常が発生し、血管が破れた場合は脳出血になり血腫による脳の圧排・破壊を起こし、血管が詰まった場合は脳梗塞になり虚血による脳組織の障害を起します。

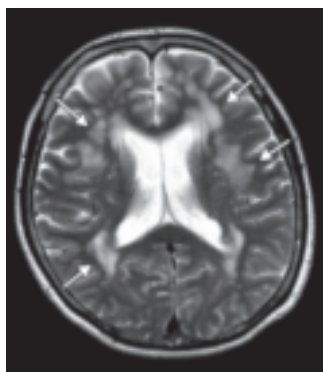
脳出血は脳内出血とクモ膜下出血に分けられ、脳梗塞はラクナ梗

塞、アテローム血栓性梗塞、脳塞栓に分けられます。脳卒中の原因としては、まず脳梗塞においては動脈硬化が最大の危険因子であり、動脈硬化の原因としては、高血圧症、高脂血症、糖尿病、喫煙が挙げられます。また特に脳塞栓の場合、心房細動など心疾患が大きな要因を占めます。出血については各病態で異なり、脳内出血では高血圧が、クモ膜下出血では脳動脈瘤が原因となります。

脳卒中、悪性新生物（ガン）、心疾患が三大疾病と呼ばれています。が、長らく死亡率一位であった脳卒中は、すでに三十年前にその座を悪性新生物に譲っています。しかし、脳卒中の問題点は、寝たきりの患者の三分の一は脳卒中が原因になっていることです。さらに要介護患者の四分の一は脳卒中が原因であり、特に七十歳以下の場合二分の一にも上ります。

脳卒中にならないように

不規則な生活習慣を主な発症要因とする、高血圧、高脂血症、糖尿病、尿酸酸血症等を生活習慣病といい、最近よく話題になります。が、そのいずれもが動脈硬化の原因となり、脳卒中や心臓病、腎臓病、閉塞性動脈硬化症を起こしや



すくします。そこでそれらを予防することが、脳卒中にならないようにするために重要です。

まず高血圧ですが、脳卒中の発症を予測するうえで、脈圧・拡張期血圧などと比べ、収縮期血圧が性や人種に関係なく、最も重要な因子になります。そして高血圧の予防には①減塩②適度な運動③禁煙④ストレスの無い生活⑤内服治

療が有用です。減塩に関してはかなり認識されてきましたが、それでも高齢化も進み、年齢に伴い血圧が上昇する人は出てきます。最近では、よく効く降圧剤が多く開発されており、血圧を下げるには、やはり内服治療は重要なことです。よく降圧剤を一度飲み出すと一生飲まないとならないから、といっていやがる方がいますが、脳卒中の治療ガイドラインでも降圧療法は強く推奨されており、「脳卒中になるよりは良いでしょ」と言って治療を勧めています。糖尿病、高脂血症の予防も、基本的には同じであり、生活習慣を改善し、それでもだめなときは薬物治療を始めるのが良いと思います。

脳卒中にならないようにするために、さらに積極的な方法として、なりやすい人に対する予防的治療というものがあります。これはMRIの進歩や脳ドックの普及によって脳卒中になる前に病気が見つかるようになったことで可能になりました。MRIで写真矢印のような無症候性脳梗塞が見つかった場合、予防的内服治療として抗血

小板剤を開始することがあります。また微小脳出血というものが見つかるとなりました。脳動脈瘤も血管を描出するMRAという撮り方でよく見つかります。脳動脈瘤破裂がクモ膜下出血の原因の大部分を占めますので、つまり出血する前に治療が可能となったということです。ただその手術適応については議論のあるところで、また最近では開頭して行うクリッピング手術以外に、血管内手術も行われるようになっていきます。

脳卒中になってしまったら

どんなに脳卒中にならないように注意していても、やはり脳卒中になってしまう可能性があります。もしなってしまうと、最も重要なことは、なるべく早く専門病院に行き、早期治療を開始することです。そのためにはまず、脳卒中の症状について知っておかなければなりません。

代表的な症状としては、片方の手足や顔面の麻痺やしびれ、呂律が回らない、思ったことが口に出ない、視野半分が欠ける等があります。

ます。また突然の激しい頭痛の場合、クモ膜下出血が考えられます。いずれにせよ、そのような症状が突然起こった場合、少し様子を見ようとか考えずに、救急車を呼んでもらって結構です。病院に着いたら、まず血圧などのバイタルサイン、麻痺や意識など神経症状を確認したあと、MRIやCTを行います。脳出血、クモ膜下出血の場合、CTですぐに診断が付きま

すが、脳梗塞の場合発症すぐには病変が分かりません。しかし、diffusion MRIという撮り方で、発症一時間以内の脳梗塞の病変も分かるようになります。そのため極端なことを言いますとMRIの無い病院では脳卒中の急性期治療はできないと言っても良いと思います。脳梗塞は病態により使う薬剤が異なります。最近使用できるようにになったtPAという薬は発症三カ月後の後遺症なしの頻度を一〇％程度上げることが出来ます。ただ非常に強い薬であるため、使用できる施設には①CTあるいはMRIが二十四時間可能である②急性期脳卒中に対する十分な知

識と経験を持つ医師を中心とするストロークチーム及び設備を有する―等の基準があり、専門の病院でなければ使用できません。

脳梗塞の再発予防としては内科的治療では抗血小板剤や高血圧等の危険因子改善があります。また脳塞栓の場合、ワーファリンという薬の内服が必要になります。外科的治療としては浅側頭―中大脳動脈吻合術というものがあり、一時期ほとんど行われなくなりましたが、最近では脳血流量量や負荷試験で適応を判断すれば有効であると分かり、再び行われるようになりました。その他、内頸動脈狭窄症では、内膜剥離術が行われることがあります。

クモ膜下出血は、一旦発症すると、三分の一が死亡・寝たきりになり三分の一が片麻痺、認知症などの後遺症を残し、三分の一はほぼ病前に戻り社会復帰できるといふ怖い病気ですが、治療は先ほど未破裂脳動脈瘤の際に述べた外科治療が必要です。脳出血は主に保存的治療が行われ、大出血の場合、救命という意味で手術は有用です。

リハビリテーションはできるだけ早く始めた方がよいということ

は広く認知されてきました。以前は脳卒中急性期は安静にという考えもありましたが、早期リハビリしたほうが、数カ月後の日常生活動作に改善が見られるという結果が出てからは、入院してからすぐにリハビリを開始しています。ただ最終的には、初期の脳損傷の程度によりしますので、リハビリによる改善は六カ月が目処と考えられています。その他、脳卒中による合併症の予防も重要な治療となります。脳卒中になると嚥下障害が出る場合がありますが、それで誤嚥性肺炎を起こします。誤嚥が疑われる患者には嚥下造影検査を行い、誤嚥がひどい場合には経口を中止し、胃瘻などを考慮することもあります。

生活習慣病の改善を

脳卒中にならないためには、高血圧等生活習慣病の改善が大事であり、脳卒中になっても早期の専門病院受診、早期治療が最も重要です。

食事改善プロジェクトのご案内

広南病院管理栄養士 五十嵐 祐子

脳卒中をはじめとする生活習慣病予防のために、二〇〇八年に特定保健指導が開始され、国を挙げて動脈硬化予防対策を行っていきます。そのような中で若齢者の脳卒中発症は増加傾向にあり、実際に当院に入院された若齢で脳卒中を発症した方々に栄養調査を行ってみると、歪んだ食事意識を持っている場合が多く見受けられます。

若年から食事の見直しを

その方々の多くは野菜や魚類、大豆製品なども十分に摂取しているものの、全体に過食（いつも満腹まで食べている）傾向にあります。これは大量の食塩並びに糖分を摂取していることが示唆され、これにより食後高血糖や高血圧を引き起こし、喫煙や加齢などのリスク以外に全身の血管病変を進展させる一因となっているのではないかと考えています。脳卒中は、

「おじいちゃん、おばあちゃんになつたらなる病気」ではなく、そのお子さん世代に増加してきており、若いうちからの食生活の見直しがとても大切だといえるのではないのでしょうか。

大切なご家族のために、お父さんが夜遅くまで一生懸命働き、仕事の付き合いで飲みすぎ食べすぎで脳卒中になってしまったら、小さいお子さんやご家族はどうすればよいのでしょうか。仮に食生活の改善が十分でないとしても、知っているか知らないかとは将来的に大きな差をもたらすと考えています。ご家族を大切に思うのであればなおさら、毎日の食事を少しだけ振り返っていただきたいと考えるようになりました。

また、私事で大変申し訳ありませんが、昨年私の家族（実父）が脳梗塞を発症し、手術をしていたいただきました。先生方はじめ父を支

えてくださった皆様はこの場をお借りして心より感謝申し上げます。その際に「管理栄養士の家族が脳梗塞になるんだから、食事からの予防は無理でしょ」とある方に言われました。脳卒中再発予防のための栄養指導を毎日行っていた私



は、患者さんに望ましい食事の指導など行う立場にないのではと大変申し訳なく思い、このプロジェクトのお話を進めることもとても悩みました。しかし、食事と病気に関わる知識など無に等しい父に、繰り返し指導し、好き放題に食べ

ていた食事を改めさせ、発症を少なくとも五年は遅らせることができたはずと、現在では勝手ながらそのように自負しております。

食事改善のためのセミナー

このような経緯から、健康な若齢者を含めた一般の方々に対し、特に脳卒中予防のための食生活に対する知識について啓発普及に努めたいと思い、「食事改善プロジェクト」と称して、大人の情報誌「りらく」への先生方のコメントを含めレシピや栄養に関する情報の掲載、食事改善プロジェクトのホームページ開設、脳卒中にならない食事セミナー等を開催する予定です。セミナー第一回目は、二〇一一年二月に太白区の宝保育園をお借りしまして減塩料理実習などを予定しております。

今後も継続してセミナーを開催し、さまざまな形で食生活からの脳卒中予防の普及活動に努めていければと思います。皆様のお近くでセミナー開催の際には、ぜひお気軽に足をお運びください。

脳卒中死亡率、前年を下回る

宮城県の平成20年人口動態統計

宮城県はこのほど、平成二十年の人口動態統計を発表しました。

統計によれば、宮城県での死因別の順位は、一位が「悪性新生物」（がん）、二位は「心疾患」、三位が「脳血管疾患」（脳卒中）で、平成二十年の脳血管疾患の死亡率

は一一・五・三^{ポイ}と前年より三・二^{ポイ}下回りました。この三大疾病の全死亡に占める割合は、男女合わせて五八・七％となっています。

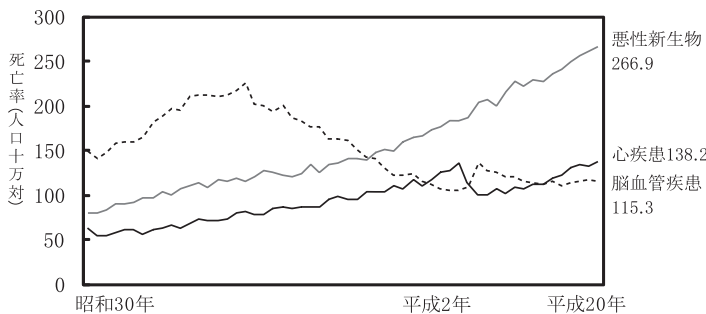
全国の死因別の順位と比較すると同じですが、人口十万人当たりの死亡率で見ると、がん、心疾患

は全国平均より低いのに対し、脳卒中に関しては、前年を下回ったものの、依然として高い傾向を示しています。

宮城県の平成二十年の総死亡者数は二万六千五百五十七人（前年二万三千四百七十七人）で、三百十人増加しました。このうち脳卒中による死亡者数は二千六百八十五人（前年二千七百六十八人）で、八十三人減少しました。全死因に占める割合は、一三・〇％（前

年一三・六％）、死亡率は（人口十万人対）一一・五・三^{ポイ}（前年一一・八・五^{ポイ}）で、全国平均では死亡率一〇・九^{ポイ}、全死因に占める割合が一・一・一％です。宮城県の死亡率は全国平均より一四・四^{ポイ}高いことが分かります。

図2 主要死因別死亡率の推移(宮城県)

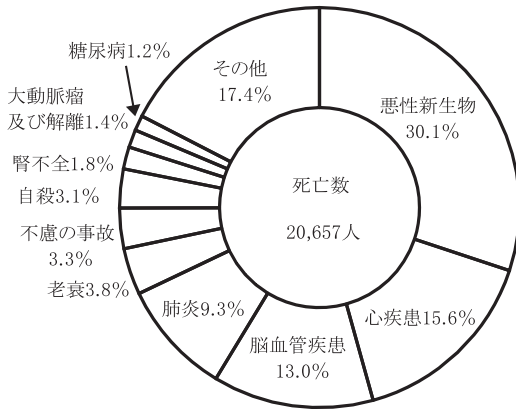


宮城県の脳卒中男性死亡者数は千二百六十人で、死亡率は一一・五^{ポイ}、全死因に占める割合が一・一・四％でした。これに対し、女性の死亡者数は千四百二十五人で死亡率一一・八・九^{ポイ}、割合で一四・八％となっています。

これを脳血管疾患の分類別死因で見ると、一位が「脳梗塞」、二位は「脳内出血」、三位が「くも膜下出血」となっています。ちなみに、脳梗塞は千五百七十二人で、男性が七百二十人、女性が八百五十二人。脳内出血は七百十一人で、男性が三百八十一人、女性が三百三十人でした。くも膜下出血は三百四十六人で、男性が百二十七人、女性が百十九人となっています。男性は女性に比べて脳内出血の比率が高く、女性は脳梗塞、くも膜下出血ともに比率が高くなっています。

また、がんの死亡率は全国の二七・二^{ポイ}に対し、宮城県では二六六・九^{ポイ}、心疾患の死亡は全国一四四・四^{ポイ}に対し、宮城県は一三八・二^{ポイ}となっており、ともに全国平均より低くなっています。

図1 平成20年死因順位(宮城県)



会 員 名 簿

(順不同・敬称略)

宮城県対脳卒中協会の平成二十二年十一月三十日現在の会員は法人五四、協賛二、個人八六八人となりました。会員の方々には、ご協力に感謝いたします。

◇法人会員【一般法人関係】(株)河北新報社、東北放送(株)、宮城県商工会議所連合会、仙都魚類(株)、(株)不二、遠山青葉印刷(株)、(株)江陽ランドホテル、(株)天津、(株)飛田組、(株)清月記、コセキ(株)、(株)ヘルスマート、(株)佐藤工務店、(株)エスパイラー、丸木医科器械(株)、エーザイ(株)、田辺三菱製薬(株)、(株)バイタルネット、大塚製薬(株)、アベントイスファーマ(株)、大日本住友製薬(株)、杏林製薬(株)、アステラス製薬(株)、キッセイ薬品工業(株)、旭化成ファーマ(株)、バイエル薬品(株)、日本ペーリンガインゲルハイム(株)、第一三共(株)、小野薬品工業(株)、味の素ファルマ(株)、GEヘルスケアアジアパン(株)、(株)シバタインテック、富士フィルムR1ファーマ(株)

【医療法人関係】(財)広南会広南病院、(財)永仁会永仁会病院、(財)友仁会松島病院、栗原市立栗駒病院、公立刈田総合病院、(財)浄仁会大泉記念病院、(財)宮城厚生協会泉病院、(財)華校会古川星陵病院、仙石病院、(財)敬人会大友病院、石巻赤十字病院、

仙台徳州会病院、赤石病院、大崎市病院事業、(財)将道会南東北病院、気仙沼市立病院、(財)社団仁明会齋藤病院、(財)社団康陽会中嶋病院、みやぎ県南中核病院、東北厚生年金病院、(財)仁泉会川崎こころ病院

【市町村関係】富谷町、山元町、

◇個人会員【仙台市】安斎政、会田秀雄、熱海和作、秋元ヒロジ、阿部要治、阿部欽一、相沢慶子、阿部寛二、阿部雄子、阿部長蔵、阿部隆、赤井澤孝子、赤井澤アイ子、赤井澤巳之吉、安住タカ、安藤裕、阿部郁夫、阿部良子、浅野国雄、葦名盛輝、荒井幸男、跡部忠男、板橋進、石川功、稲次幸子、市川昌久、石堂つね、五十嵐栄治、板橋洋子、石田茂、泉山昌洋、板橋順子、井崎英男、井崎のり子、井筒昭子、猪岡伸一、板橋かね子、伊藤謙治、石澤清暉、薄井宗一、植野静夫、内田直樹、遠藤英一、大内信郎、大泉文男、大方俊樹、及川徳行、大槻俊夫、小野喜一、小野寺佛子、大場光昭、大森としこ、岡崎吉勝、小田嶋喜一、小田倉弘典、小倉健治、小倉光男、小島養治、及川誠一、小島栄子、大庭正敏、及川萬、小貫信、奥田禮子、加藤俊和、河村基、川名春夫、菅野良平、加藤よしこ、鎌田源一郎、菅間進、笠原富夫、貝山仁、加藤康子、菅野光子、菅野かつ子、桂田啓生、川村長祐、加藤しづか、加藤孝、金子定吉、河東田義郎、川口洋子、春日園

江、北村龍男、木田茂、木田照子、木田哲也、菊地きよ、菊地文博、木名瀬敏正、菊地利典、木須理利、木村和雄、熊谷一男、熊谷恒治、黒澤朋子、熊谷榮雄、熊谷サチ子、釧持英子、小塚宣人、小池仁吉、小松卯一、郡山宗英、小松敬次、後藤文利、小林卯太郎、小林信男、小林泰子、齋藤忠雄、斎藤公男、斎藤一彦、斎藤樹志子、斎藤よし子、斎重光、佐々木博行、佐藤裕、佐藤正一、佐藤章、佐藤聖吉、佐藤義輝、佐藤輝子、佐藤元一、佐藤潔子、佐藤暁祐、佐藤恭子、佐藤恵郎、佐藤一榮、佐藤ウタノ、佐藤康男、佐藤昭紀、佐藤徳昭、佐藤定男、佐藤達之、澤田栄子、佐久間義昌、穴戸令子、清水圭、渋谷一誠、庄子勝雄、庄子みよ子、庄子けさを、庄子良一、渋谷善雄、庄子まゆみ、莊司明美、庄司尚志、庄子ふさよ、庄子健次郎、柴崎篤、庄子雄二、庄司なか子、庄子惣蔵、下山茂行、庄司征一、庄子重治、白石潔、新海準二、鈴木宗一、杉田宏美、杉本矩雄、鈴木清龍、鈴木紘一、鈴木源二郎、鈴木直清、鈴木旭、菅原正一、菅原文子、菅原次男、鈴木繁雄、鈴木幸男、関場勝広、関久友、関本紀、相馬林一、高柳義伸、丹野幸男、武田富記、大門和雄、大門夕子、高橋千之、丹野邦夫、高橋弥三郎、田中みさお、武田孝子、武田富男、高橋克、田中修一、千葉清助、千葉守、津田政克、梶田栄二郎、時田浦蔵、永野令子、奈良坂拓、中

川司、中川タイ子、中川孝子、南場秀子、中村志朗、南城公夫、中嶋俊之、長嶺義秀、長瀬章次郎、新関きよ、新田千代美、新倉栄、新倉八重子、新倉市郎、新倉良子、西澤義彦、西川通、根本力男、根本富喜子、羽田光雄、早坂達、早坂光、蜂屋嘉子、早坂文子、長谷俊男、畠山三男、菱沼キヨ、日野泰彦、深田一弥、福島たか子、舟田彰、古内重義、古内房恵、福田陽一、堀江ふみ、細川京一、星三郎、松浦善四郎、松浦圭一、増澤良保、松田喜美子、松井正夫、道又勇一、嶺岸良夫、三浦まさ子、光永輝彦、三浦恵一、三浦秀博、三澤壮義、村上富美子、村主常次、武者盛宏、森洋子、山田ナヨ、八幡昌介、山口喜市、八木橋今子、山口せつ子、八島長市、山口勝彦、山口光子、湯目とし子、横山秀保、吉川富士子、吉村典男、米谷義己、米山豊彦、渡辺秀雄、渡辺芳雄、渡辺三穂、若生幸衛、渡辺幸子、我妻忠、渡辺顕悟、渡辺真一

【中支支部】荒川レイ子、伊賀正、沓岐武、沓岐源昭、沓岐善郎、沓岐善一、沓岐善夫、伊藤宏一、伊藤きみ、入間川勝夫、大村耕一、小嶋秀喜、及川ミヨ、柿沼文彦、川村幸毅、菊田信次、生島将光、今野博、佐藤善夫、佐藤一男、佐藤八重子、斎藤勉、庄司文男、庄司金蔵、庄司富吉、庄司淑子、高橋重義、高橋康次、千葉和子、三浦正之、守てるよ、山田栄一、渡辺伸一郎、渡辺幸一、渡辺久

子、渡辺マサコ、沓岐圭子、伊藤長寿、沓岐幸三、沓岐軍治、伊藤孝志、伊藤寿美子、遠藤せつ子、大友よし子、小田島寛治、大沼長一、海藤クニ子、菅野正志、菊田明子、菊一つな子、佐藤太一、佐藤信雄、佐藤ヨシコ、庄司静男、菅原道雄、平野久雄、本田美典、米山博、渡辺進、渡辺よう子、我妻忠作、渡辺ふじ、渡辺のぶ、沓岐正、入間川忠雄、一條嘉夫、川村定雄、金成脩、加藤功、佐藤嘉郎、鈴木正吉、高橋次男、原田公一、渡辺秀博、渡辺惣市郎、浅沼孝信、石田つよし、小田島長治、柿沼一、加藤秀男、今野こあき、今野清、佐々木みよ、桜井忠、佐藤禮子、佐藤房子、菅井昭吉、鈴木武、高橋正一、高橋るい、高橋清、早坂茂、菱沼充子、守健治、守健一、山口千代子、山路敏夫、山田京子、渡辺たか子、渡辺義行、渡辺克幸、渡辺洋子、渡辺勝、太田弘、太田秀雄、太田功、太田孝一、小野寺仁、小野寺文男、太田勝康、小野寛明、及川賢二、海道榮一郎、木村達郎、熊谷昭市、熊谷吉夫、佐々木猛、佐藤初男、佐藤又七、佐藤誠輝、佐藤栄吾、桜庭文三、佐藤二郎、佐藤勝基、佐藤昭雄、佐藤栄一、穴戸和彦、庄子二郎、菅井愛子、鈴木とき子、鈴木健一、鈴木利一、鈴木正、鈴木喜美夫、丹野益子、豊田金十郎、平間菊二、守正志、守善平、守哲郎、守ツヤ子、守十郎、守信也、横田八十一、吉田利二、渡辺正美、渡辺英伍、

伊深剛、伊深芳雄、伊深三郎、石岡忠美、伊深昭夫、伊深忠、大内勝寿、大友辰男、大友美智子、小野寺二郎、加藤新一、菊地春利、菊地博、佐藤義雄、榊原健二、佐々木盛安、佐々木順子、佐藤叔、鹿内孝史、菅井利幸、菅井譽雄、菅井市郎、菅井庄一郎、菅井研、菅井富夫、菅井源太郎、菅井勝之、鈴木富男、菅井鉄夫、菅井直彦、菅原幸雄、高橋正良、高橋正弘、高橋讓、玉川金嘉、日塔勝好、樋口松五郎、文屋昶、三品優、目黒篤一、四倉秀寿、阿部甚助、阿部暢男、阿部たけ、阿部寿、阿部朗、阿部倅知、阿部忠、相沢博、阿部惣一郎、阿部知行、阿部正夫、阿部千賀子、阿部敏郎、阿部れい子、阿部よしゑ、阿部喜一、阿部いし、阿部亮之右、阿部清、阿部正三、阿部重二、阿部道、阿部克世、阿部徳夫、伊藤武朗、今田松、伊東傳二、小田嶋邦子、大泉郁夫、大久宗、籠倉恒男、桂島キヨ、小井土忠義、昆野コトジ、佐藤敏夫、佐藤友恵、佐藤忠雄、佐藤孝之、佐藤平治、佐藤文蔵、佐藤由雄、庄司守、菅田寅夫、鈴木敏郎、田中研司、長沢兵右エ門、嶺岸澄子、山口市朗、渡辺正、相原正志、相原栄子、相原亨、阿部ゆきゑ、阿部美考、井筒泰司郎、石田清一、伊深芳家、伊藤てる、伊藤文雄、五十嵐稠、猪股見津雄、遠藤兵衛、忍幸、大友あき、大槻よね、近江昭夫、大友昭子、小畑重人、岡崎京子、加藤ちよ、川村浩、柿沼孝、

木村春雄、今野崇夫、今野譲、今野三郎、後藤勝男、佐藤重信、佐藤一男、佐藤芳一、佐藤節雄、佐藤はる子、佐藤勝也、佐々木直美、庄子新助、清水俊夫、島貫のぶ子、白鳥清正、清野峯子、高橋悟、中野輝夫、中村勝弥、新野昌男、新野英雄、羽川芳広、箱崎修二、曳地けい子、堀重雄、増子仁、三浦正幸、三浦三男、守功記、吉田宗六、鷲尾英雄、渡辺修、渡辺恵美子、渡辺昇、阿部藤七、阿部久志、阿部ハナ子、阿部和男、入間川博、伊深正男、大山富夫、大友富次、大友六雄、岡本三男、小野寺繁、柿沼望治、海藤シマ子、加藤久、柿沼一男、柿沼正克、菊地浩、木澤畑富雄、佐藤広和、佐久間善行、斎藤敏、庄子正男、菅井健次、高橋福治、高橋彰一、鴛田麗子、茄子川喜久雄、沼倉尚、山下勝司、吉野正弘、渡辺武郎、渡辺公隆、渡辺よしゑ、渡辺徳男、渡辺純子、相原敬尋、板橋勇、板橋昭二、板橋久子、太田隆基、大宮義巳、川村逸郎、川村友二、北住享宥、小泉一、佐竹とき子、佐伯春夫、佐々木嘉則、鈴木和夫、鈴木くにみ、須田久、清野辰子、高階正浩、田中幸子、丹野彰、丹野寿子、沼田ふみゑ、三塚きみ子、渡辺かつ子、渡辺キミ子、平澤とき子

【石巻市】阿部廣、伊勢ミワ子、奥田道子、梶谷いつよ、掃部関信人、熊谷幸男、小林剛郎、齋藤正美、高橋節子、千葉健夫、千葉喜美子、二宮以義、福田省一、藤田隆一、宮本正隆、遊佐艶子
【東松島市】小野ミサ子、松浦栄子
【塩釜市】大井康、及川潤一、今野和子、今野久雄、富永詩郎、本間正明、門馬重信
【多賀城市】氏家紘一、江井保夫、大場三夫、黒沢久三、鈴木修治、西條力也、庄司恵美子、関口淳一、南城正勝、福島勢津子
【松島町】大山敦子、高野りょう子、中山大典
【七ヶ浜町】佐藤元
【利府町】宮田幸比古、宮下孝
【加美町】伊藤明一、伊藤怜子、伊藤策実、北村保、今野陽子
【大崎市古川】阿部俊助、青木チドリ、伊藤繁雄、伊藤房江、木村靖、佐藤謙一、佐藤幸治、佐々木榮董、穴戸正治、穴戸れい子、穴戸久美、鈴木克子、高橋郁朗、高橋みさを、三浦裕一、門田ケイ子
【大崎市鹿島台】小野寺敦
【大崎市岩出山】佐藤進、三塚みさを、伊藤公昌
【大崎市田尻】大久保孝一
【涌谷町】最上演子、岡本緑太郎
【美里町】熱海徳夫、芦田忠雄、穴戸五月子、小茄子川亨
【気仙沼市】畠山耕治、村田勝正
【白石市】片倉庄助、佐藤とも子、村上正良、亘理廣子

【角田市】安藤祐介、荒川三夫、阿部和郎、菅野基、佐々木哲郎、樋口多恵子、渡邊ヨシ子、上澤潔、

【蔵王支部】大宮清志、鎌田謙治、片倉泰二、齋藤敬、齋藤ケサ子、佐藤東二、白幡修、鈴木清、大道寺十四男、樋口俊治、樋口恒男、牧野謙一、村山雅子、山家礼子、山家實、会田常人、浅沼一郎、会田直隆、東頼義、相原八男、会田好昭、芦立東暎、赤間良信、伊藤和男、伊藤晴信、伊藤征雄、石井久義、石澤宏晃、牛木力夫、遠藤宏、遠藤忠吾、遠藤大、遠藤誠治、遠藤正二、遠藤治、近江一江、近江勇輝、近江朝夫、大沼二男、小熊清男、小熊久男、奥山章三、小原一信、小原研一、大沼芳国、大沼昌昭、大沼清、大庭彰、尾関定法、加藤幹夫、加藤晴朗、菅野勝司、菅野悦郎、菅野幸夫、菅野勝彦、河村吉宏、川村仁、熊坂稔、佐藤清悦、佐藤清寿、佐藤憲治、佐藤栄一、佐藤やす子、佐藤うめの、佐藤栄一、佐藤拓、佐藤二郎、佐藤幸夫、佐藤孝、佐藤功、佐藤よし子、佐藤長成、佐藤ユウ子、佐藤銀藏、佐藤忠夫、佐藤詔雄、佐藤光雄、佐藤勝厚、佐藤栄昭、佐藤京治、佐藤幸枝、佐藤光由、佐藤美枝子、斎藤明、斎藤実、斎藤長夫、斎藤政行、斎藤善一、斎藤広、斎藤君男、洪谷一男、鈴木設雄、高橋好夫、玉根良清、高野輝一、丹野昭、丹野正春、丹野昭一、玉山教夫、竹花純栄、田中陽一、武田三男、外門清、中山

光弘、根本昭彦、長谷川光、羽田保之、馬場勝彦、馬場信夫、馬場昌喜、平間三男、平間美智子、平間てるの、平間久一、樋口喜久雄、福田やい子、福地敏明、古川優子、真壁昭夫、松崎義明、松崎良一、三浦力男、水澤智孝、村上敬一、村上正男、村上秀三、村上明、村上和利、村上英人、村山一夫、村上輝雄、村上和子、村上新一、村上善吉、鎌水洋、鎌水千恵子、鎌水隆、山家一男、山家康男、山家正夫、我妻守、渡辺一男、我妻研一、我妻政美、我妻耕造、我妻稔、我妻幸美、我妻誠、我妻千枝子、

【蔵王町】熊谷チヨ子、佐藤昭一
【大河原町】大沼歩、日下昭吾、佐藤信子、平井達郎

【柴田町】阿部アイ、佐藤富造、水戸正人、三浦浩、最上はる子、米野きぬ子
【川崎町】阿部武夫、石井信孝、大津熊吉、大宮円治、近江亮、小野郁夫、大宮正義、近江嘉七、大宮一、大宮高資、近江久仁寿、小山満、近江捨男、太田隆夫、菅野秀一、寛野秀雄、神崎タマ、熊谷和雄、熊谷越子、熊谷ヨシへ、佐藤洋、斎藤半治、佐藤宏一、佐藤新一郎、佐藤保、菅原勝彦、丹野義幸、高山恵弘、西崎トモ子、沼田正蔵、真壁勇、宮崎亀一、最上孝、最上勝夫
【丸森町】島崎直彦、高橋キヌヨ、八島勝男

【名取市】阿部秀一、相沢富雄、跡部

守男、板橋三男、板橋正友、板橋宮子、内山晋、大川清治、大久保友蔵、黒田輝俊、小平守夫、今野善機、今野芳治、佐藤信子、沢口直、佐々木昭保、佐藤安子、斎藤昭二、佐々木進、莊司隆之、庄司昌治、須田弘、菅野光子、高橋男夫、高城朝子、武田勝夫、田村剛二、高橋久吉、武田吉正、丹野陽一、戸田秀司、保科英之、益子啓、三浦ちよ、三谷徹、三塚米雄、森幸一、山田利夫、渡辺千代子、若生勝男、渡辺正吉、渡辺時雄

【岩沼市】青木恭規、氏家とし子、長田信子、大内康寛、佐藤賢治、長谷部ヒデ子、安田莊十郎

【亘理町】安喰和子、石間重雄、遠藤次子、寺村博

【大和町】大崎妙恵
【大衡村】富永孝子

【大郷町】大類幸雄

【栗原市】斎藤郁子、佐々木英代、白鳥寿、鍋田勉

【登米市】秋山久吉、乾瑞法、小野寺寿美子、佐々木源太郎、佐々木忠蔵、太布磯雄、太布恵子、千葉哲郎、津花英子、本田治夫

【青森県】上村佳子

【山形県】鈴木直美、三俣七郎、渡辺孝男

【福島県】松本登、荒アキ子

第6回脳卒中の薬物療法研究会

日時：平成23年2月10日(木) 午後6時45分～
場所：江陽グランドホテル3階 白鳥
対象：医師

一般演題 「慢性血液透析患者における出血性脳卒中治療の現状」
仙台市立病院 脳神経外科部長 刈部 博 先生
特別講演 「脳動脈瘤の新規薬物治療法開発の可能性」
京都大学大学院医学研究科 神経細胞薬理学 青木 友浩 先生